



















週間市場レポート (2020年8月24日～8月28日)

1) 先週の市場動向

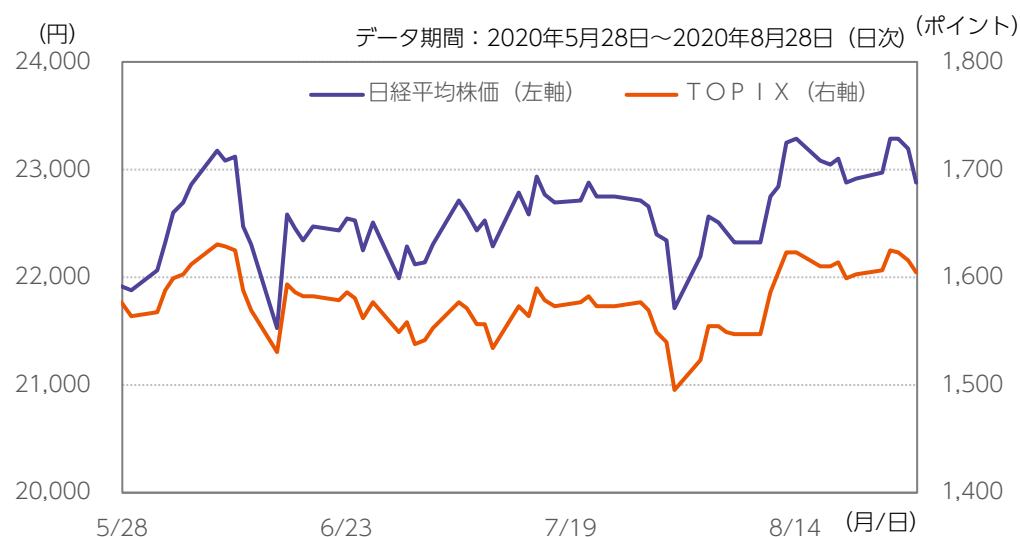
指数名	国	前週末 2020/8/21	先週末 2020/8/28	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		22,920.30	22,882.65	▲ 0.16 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,604.06	1,604.87	0.05 ↑
ダウ工業株30種平均 (ドル)		27,930.33	28,653.87	2.59 ↑
S & P500種指数		3,397.16	3,508.01	3.26 ↑
ユーロ・ストック50指数		3,259.75	3,315.54	1.71 ↑
S & P/ASX300指数		6,079.90	6,050.02	▲ 0.49 ↓
上海総合指数		3,380.68	3,403.81	0.68 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)※		883.19	905.64	2.54 ↑
東証REIT指数		1,734.98	1,737.58	0.15 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		680.42	693.98	1.99 ↑
ASX300 REIT 指数		1,270.40	1,287.10	1.31 ↑
グローバルREIT (除く日本)※		160.12	162.97	1.78 ↑
日本10年国債 (%)		0.03	0.06	0.03 ↑
米国10年国債 (%)		0.63	0.72	0.09 ↑
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.51	▲ 0.41	0.10 ↑
英国10年国債 (%)		0.21	0.31	0.11 ↑
ドル/円		105.80	105.37	▲ 0.41 ↓
ユーロ/円		124.81	125.39	0.46 ↑
英ポンド/円		138.49	140.68	1.58 ↑
豪ドル/円		75.77	77.61	2.42 ↑
フィラデルフィア半導体指数		2,198.33	2,264.14	2.99 ↑
WTI原油先物 (ドル)		42.34	42.97	1.49 ↑
CRB 指数		149.96	153.44	2.32 ↑
アレリアンMLP指数		732.52	723.62	▲ 1.21 ↓

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。米中貿易協議に進展の兆しが見え始めたことなどを背景とした米国株高に連れて前週末から3日続伸となりました。その後は、27日 (木) にパウエル米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の講演を控え、積極的な売買は控えられたことから小動きとなりました。週末は、安倍首相が辞任の意向を固めたとの報道を受け、大きく下落したものの週間ではほぼ横ばいとなりました。



≪ 債券 ≫

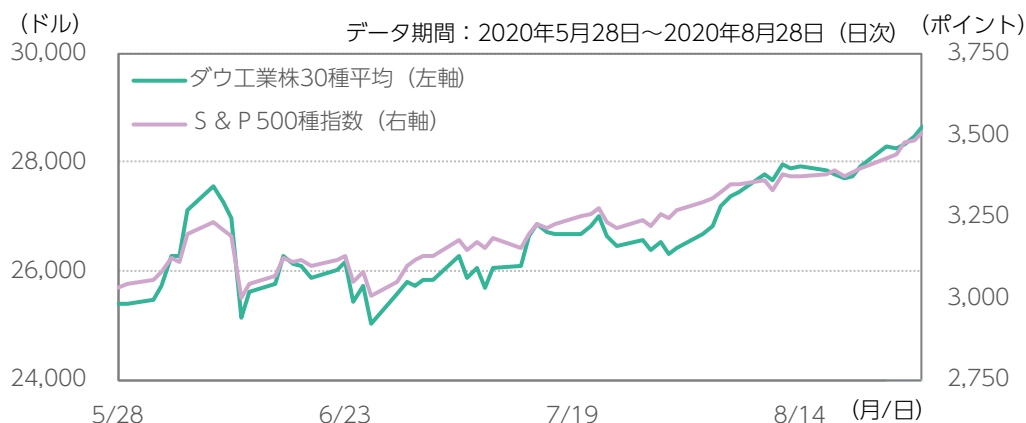
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。パウエルFRB議長の講演を受け、米国株式により一層強気な見方が広がり投資家のリスク選好姿勢が強まったことで債券市場は売りが優勢となりました(利回りは上昇)。また、安倍首相の辞任報道を受けアベノミクスを支えた異次元緩和の行方を巡る不透明感等から、一層売り圧力が強まりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

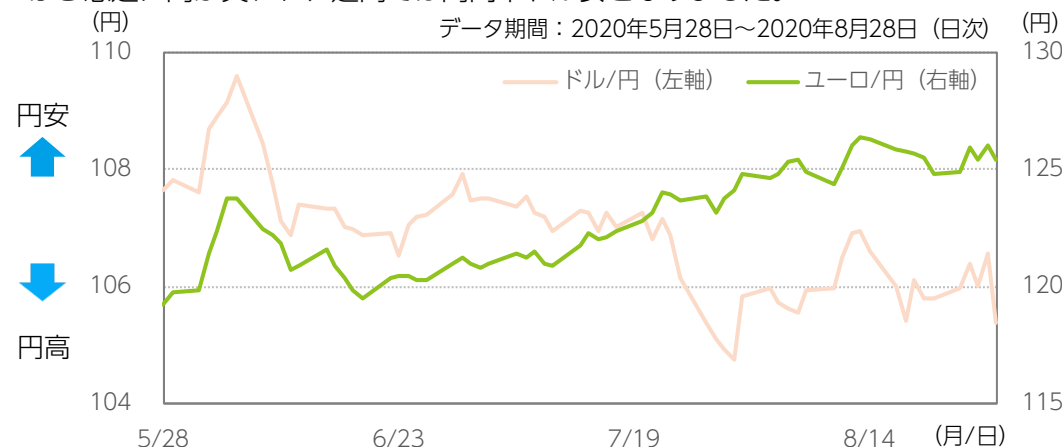
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。米中貿易協議に進展の兆しが見え始めたことや、新型コロナウイルス治療薬の開発期待などを受け、週初より上昇となりました。その後は、パウエルFRB議長の講演を受け、緩和的な金融環境が継続するとの見方が広がり潤沢な資金供給が続くとの期待感などから週末まで上昇基調となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。コロナ治療薬の開発期待等を背景とした株高を受けて投資家のリスク選好姿勢が強まり、相対的に安全と言われる円は売りが優勢となりました。週末には、安倍首相の辞任報道を受け、円安・株高を指向したアベノミクスが転換点を迎えるとの懸念から急速に円が買われ、週間では円高米ドル安となりました。



5) 今週の見通しについて

新型コロナウイルス治療薬の開発期待などを背景に、先週の米国株式市場は前週末比で上昇となりました。

先週、米中首脳による電話協議が開催されたことを受けて、貿易をめぐる米中对立懸念は、足元では後退しつつあるようです。

今週は、8月の米国ISM製造業・非製造業の景況感が公表されますが、一部地域で引き続き経済活動が制限されていることなどから、市場予想でも一段の改善は見込みにくいとされています。今週の米国株式市場は、材料難から横ばい圏での推移が予想されます。また、先週末に大きく売られた反動もあり上昇して始まった日本株市場も、次の首相の政策を見極めたいとの思惑から23,000円を挟んでもみ合う展開が予想されます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>